



アメリカ合衆国へ抗議文を送付

杉並区は、本日、アメリカ合衆国が、今年9月4日と10月3日の2回行った新たなタイプの核性能実験に対し、バラク・H・オバマ大統領あて抗議文をアメリカ大使館に送付しました。

抗議文の内容は、別紙のとおりです。

【報道機関 問い合わせ先】

区民生活部管理課・総務部広報課

電話 3 3 1 2 - 2 1 1 1 (代表)



SUGINAMI CITY OFFICE

1-15-1 ASAGAYAMINAMI SUGINAMI-KU TOKYO 166-8570 JAPAN
PHONE.03-3312-2111 FAX.03-5307-0683

抗 議 文

アメリカ合衆国大統領
バラク・H・オバマ 閣下

このたび、貴国が、今年9月4日と10月3日の2回、ニューメキシコ州の研究施設で新たなタイプの核実験を行ったとの報道に接しました。

貴殿は、「核兵器なき世界」を唱え、昨年6月には、ベルリンにおいてロシアに核兵器の追加削減交渉を呼びかけるなど、核軍縮に取り組む姿勢を示してきました。混迷する国際情勢を背景に米口間の核軍縮交渉が停滞する中、国際社会での核廃絶を求める声は高まりつつあり、貴国が核兵器の安全性・健全性の保持などを理由に核実験を繰り返すことは、「核兵器なき世界」に矛盾するだけでなく、平和を希求する世界中の人々の願いを踏みにじるものであり、断じて容認できません。

杉並区は、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い平和都市宣言を行っている立場から、貴国の核実験に度々抗議してきたにもかかわらず、核実験を実施したことは極めて遺憾であり、厳重に抗議します。

1954年に貴国が行った太平洋ビキニ環礁水爆実験を契機に、杉並の地から始まり全国へと広がった原水爆禁止署名運動から今年で60年が経過したことを改めて心に刻み、杉並区は、最大の核保有国である貴国に対し、あらゆる核実験を即時中止し、非人道的兵器の極みである核兵器の一日も早い廃絶を目指して、主導的な役割を果たされるよう強く求めます。

2014年11月5日

杉 並 区 長

田 中 良